

需要サイドの取組

計画調整契約・随時調整契約の拡充(特別高圧、高圧大口、小口向け)

各電力会社が需給調整契約のプランの拡充や割引単価を拡大(例:関西電力が随時調整契約のうち、前日通告プランに加え、前週通告プランを新設)

季節別時間帯別料金の活用・新たなピーク料金メニューの設定(低圧向け)

東京電力(6/1～)、関西電力(7/1～)が新たなピーク料金メニューを導入(新メニューの申込み件数は、東京電力:約410件(5/11-6/20)、関西電力:約9700件(5/21-6/19))。九州電力及び四国電力はピーク料金の実証を実施。また、関西電力及び北海道電力が、一定の節電を達成した家庭にプレゼントを進呈するキャンペーン(7～9月)を実施。

アグリゲーターを活用したDSM(デマンドサイド・マネージメント)(特別高圧、高圧大口、小口向け)

複数の需要家のピーク需要抑制の取組を取りまとめることで、大規模なピーク需要抑制を実現するプランを東京電力が公募。5件のプランについて、取りまとめ事業者(アグリゲーター)との契約締結を発表(6月6日)。関西電力は、BEMS(ビルエネルギー管理システム)を導入した複数の需要家に対し、負荷調整を働きかけ、ピーク抑制を実施するアグリゲーターを公募(5/28～6/15)。18社の応募があり、現在協議中。

入札等によるネガワット取引(特別高圧・高圧大口向け)

関西電力が7月2日よりネガワット取引(需給ひっ迫が予想される場合に、電力会社が需要家から節電(負荷抑制)を入札により確保する仕組)の実施。

スマートメーター向け検定手数料の引き下げ(低圧向け)(エネルギー規制・規制改革アクションプラン関連)

7月1日より低圧用スマートメーターの検定手数料を大幅に引き下げ(1台670円から370円に)。

供給サイドの取組

自家発電購入の拡大

電力会社が需要家の自家発電による電力を購入した場合、買い取り分を需要家の節電とみなす指針(昨年11月公表)に基づき、具体的案件について電力会社と需要家が検討中。また、補助金(6月29日まで公募中)を通じて自家発電設備の導入・活用を促進。

分散型売電市場の開設

6月18日より分散型・グリーン売電市場を開設。自家発電等の小規模電源や系統への送電量が一定ではない電力も売電可能。

卸電力取引所の時間前市場の利用要件緩和

6月20日から卸電力取引所の時間前市場の買いに関する制限を撤廃し、経済的理由での買い入札や差し替えを可能とする運用を開始。